

# 第2回かごしま材利用建築物コンクール受賞建築物

## I 木造又は木造との混構造の部

### 1 最優秀賞（1点）

名称 小浜ヴィレッジ  
用途 多目的交流施設  
所在地 霧島市隼人町  
建築主 株式会社 住まいず  
設計者 株式会社  
フジワラテッペイ  
アーキテクツラボ  
施工者 株式会社 住まいず

#### 【建築物の特徴】

- ・地元産スギ材のぬくもりや開放的な木造空間により、訪れる人々に居心地の良さを提供できる施設。
- ・伝統的な三角焼きによる耐候性の高い焼杉を外壁に活用。
- ・焼杉の外壁は実無しビス留めとし、劣化部分のみを交換できるよう経年後の修繕面を工夫。
- ・大径木を積極的に活用し、森林資源の循環利用等に貢献。

#### 【評価のポイント】

- ・複数の店舗や施設で構成され、施設全体の規模が大きく、木造のインパクトが強調されており、非常に高い木材利用のP R効果がある。
- ・一般材による木構造を基本としつつ、屋根にCLTを使用するなど、木材をふんだんに使用している。
- ・海に面していることから耐候性の高い焼杉を外壁に使用し、外観のアクセントとしての効果も発揮されている。
- ・地域を取り込む村づくりに木を活かし、地域の拠点となるよう努力し続けていることは、木の魅力を伝えることにもつながる。



### 2 優秀賞（2点）

名称 enefil吉野  
用途 事務所等施設  
所在地 鹿児島市吉野町  
建築主 日本ガス 株式会社  
設計者 トラス・アーキテクト  
株式会社  
施工者 日本ガス住設 株式会社

#### 【建築物の特徴】

- ・木質ラーメン構造による大スパンの空間を実現した施設。
- ・柱、梁等には大断面集成材、天井部にはスギCLTを使用。
- ・木造建築物の良さを感じてもらうための集客イベントを開催。
- ・HP、パンフレットを活用し、かごしま材の良さを発信。

#### 【評価のポイント】

- ・建物は事務所やイベント会場として活用しており、非住宅分野の木造施設としてP R効果が高い。
- ・構造材を現しとし、床もオーク材を使用して木の柔らかさや温かさを感じることができるなど、木の活かし方に工夫が凝らされている。
- ・建物内部から桜島が見通せるなど、眺望も考慮した配置で設計・施工されている。





## 2 優秀賞（2点）

名 称 曾於市役所大隅支所  
・ 大隅中央公民館  
・ 市立図書館大隅分館  
用 途 庁舎・公民館・図書館  
所在地 曾於市大隅町  
建築主 曾於市  
設計者 株式会社 畠中設計  
施工者 渡辺・川原田  
特定建設工事共同企業体

### 【建築物の特徴】

- ・ 構造材を現しとするほか、耐力壁も意匠的なデザイン。
- ・ 図書館の壁には杉板を使用し、調湿効果による快適な室内環境を保つとともに、蔵書の保護にも配慮。
- ・ 県産材のうち約40%は曾於市産材、かごしま材のうち約60%は認証かごしま材を使用。
- ・ 棟上と竣工に現場見学会を実施し、木材の利用をPR。

### 【評価のポイント】

- ・ 市役所・公民館・図書館が一体となった多くの市民が活用する施設において、地元産材をふんだんに利用しており、PR効果が高い。
- ・ 構造材を現しとし、内装も意匠をこらしたデザインとするなど、木の良さ、ぬくもりが感じられる。



## 3 特別賞（1点）

名 称 木とふれあう複合施設「棕」  
用 途 多目的交流施設  
所在地 南九州市川辺町  
建築主 マル川建設 株式会社  
設計者 marukawa建築設計事務所  
施工者 マル川建設 株式会社

### 【建築物の特徴】

- ・ 軒を大きく張り出し、雨掛り部分を減らすことで、木材の長期メンテナンスに配慮。
- ・ 深い軒、黒く塗った外壁、木質感を活かした軒天、広いデッキが周辺の景観に調和。
- ・ 地域交流の場としての活用、木工教室やマルシェの開催に加え、HPやSNS等で木材利用の魅力を発信。

### 【評価のポイント】

- ・ 2棟の建物を1つの大屋根でつなげるなどデザイン性に優れており、人々の目を引く建築物となっている。
- ・ 長屋風で、かつ2世帯住宅としての活用など、利用面で多くの可能性を持つモデル的な施設である。
- ・ 細部にまで木を使うなど、木造への意識が強く、PR効果が高い。



## Ⅱ 内装木質化の部

### 1 最優秀賞（1点）

名 称 始良市役所本庁舎

用 途 庁舎・事務所等施設

所在地 始良市宮島町

建築主 始良市

設計者 山下設計・永園設計・ゲンプラン設計業務委託共同企業体

施工者 フジタ・渡辺・福永特定建設工事共同企業体

#### 【建築物の特徴】

- ・利用頻度が高い窓口や共有部を木質化することで、多くの市民に木の良さを体感していただくことができる施設。
- ・天井ルーバーは見付面を広く取ることで、木材の温かみを感じさせる表情を持たせ、幅に一定のリズムをつけることで、人目を惹くようにデザイン。
- ・ルーバー部材の長さを短く一定に揃えることで、小部材単位での維持・修繕が可能となるよう設計・施工。
- ・内装仕上げ材はモノトーンを基調とし、スギの温かみが際立つようにコーディネート。
- ・始良市産杉材を活用している旨のPRポスターを作成し、木材仕上げを採用する空間に掲示。

#### 【評価のポイント】

- ・コストを抑えながら広い面で木材を感じられ、他の自治体への波及効果が期待できる。
- ・天井ルーバーによってライティングの効果が格段と上がっている。ダウンライトがまぶしくなく、床に反射することで木材の持つあたたかみが強調され、柔らかい光が広がっている。
- ・始良市産のスギ及びメアサスギのPRパネルを展示し、木材利用推進に効果がある。

